

(2) 生き物の「生きる知恵」に対する感動

生き物のいのちはどのようにつながっていくのだろうか。

ヘチマの実の下の部分が取れて、自然に種が落ちる仕組みになっているよ。



ヘチマ

セイタカアワダチソウ



オナモミ



風で種を飛ばして仲間をふやすのかな。

オナモミ、ヌスビトハギ、チカラシバは何かにくっついて種を運んでもらうんだ。

チカラシバ



ヌスビトハギ

かたいからに守られていて、食べられるのを防いでいるのかな。



ドングリ

種から芽が出ないことも考えて、たくさん種を残しているんだね。

葉は、枯れてしまったけど、枝に小さな芽ができています。春に芽を出すためにじっとしていると思う。

スポンジみたいな物で寒さから守っていると思う。たくさん幼虫がいて、少しだけが生き残るよ。



カマキリの卵



モミジ

みんな工夫してがんばって生きているんだね！

○ 児童のノートから...

ぼくは、カマキリもヘチマもチカラシバも同じことをしているなあと思いました。だめになるものがあるからたまごもたねもたくさんあると思います。タンポポやチカラシバは風にまかせ、カマキリは、たまごの中でリーダーが合図を出して生まれてくるのだと思います。(N. H)

生き物はみんな、たまごをうんだり、たねや芽を作ったりしています。たねは風で遠くへ飛ばしたり、何かにくっついて遠くまで運ばれたりして次の命につなげているんだなあと思いました。虫や植物も工夫していると思いました。(S. K)